

デジタル田園都市国家構想の実現に向けた  
第3期水俣市まち・ひと・しごと創生総合戦略  
の策定概要について

# 水俣市まち・ひと・しごと創生総合戦略の状況について

## (国)第2期総合戦略(R2～R6)

毎年、戦略の内容の見直し・改訂を実施

R4.12にデジタル田園都市国家構想総合戦略として抜本的な改訂を実施、期間も変更ただし、まち・ひと・しごと創生法、長期ビジョンの改訂は無し

## (国)デジ田総合戦略(R5～R9)

### 【施策の方向性】

デジタルを活用した地方の社会課題解決（地方における社会課題の認識に大きな変化なく、デジタル活用施策を大幅追加）

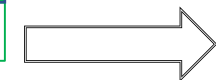
## (国)地方版総合戦略の策定の手引き (参考)

### 【総合計画との関係】

総合戦略は総合計画等の中からデジタルの力を活用した地方創生を目的とする施策やKPIを抽出し、地方版総合戦略とすることができる。

### 【地方版総合戦略の名称例】

- ①〇〇市デジタル田園都市国家構想総合戦略
- ②〇〇市デジタル田園都市構想総合戦略
- ③〇〇市デジタル田園都市国家構想の実現に向けたまち・ひと・しごと創生総合戦略



まち・ひと・しごと創生法第9条・第10条に基づき策定（努力義務）



国は地方版総合戦略の早期改訂等を要請（努力義務）

※デジ田交付金（推進タイプ、拠点整備タイプ）の交付、企業版ふるさと納税の活用要件等となる



本市は総合計画から施策・KPI抽出（KPIについては事務事業評価からも抽出）  
名称は③を参照して設定

## (市)第2期総合戦略(R2～R6)

### 【市総合戦略の構成】

- ・国総合戦略を踏まえた4つの基本目標
- ・現総合計画（第1期）に沿った22の基本的方向、50の具体的施策、79のKPI

R6年度で計画期間が終了することに伴い次期総合戦略を策定



### 【R6年度策定方針】

#### ※人口ビジョンについてもR5社人研推計に基づき改定

#### ・期間：R7～R10（4年間）

※国改訂の翌年度までに設定

#### ・戦略の構成は2期戦略を踏襲

※国デジ田総合戦略を踏まえた基本目標を4つ設定

※現総合計画（第2期）に沿った基本的方向、具体的施策、KPI等設定

#### ・地域ビジョンの設定（＝SDGs未来都市）

「人口ビジョン」は、本市における人口の現状及び将来にわたる分析と推計を行い、人口問題に関する市民との認識の共有を目指すとともに、今後目指すべき将来の方向性と人口の将来展望を示すものであり、『総合戦略』の基礎として位置づけ

#### <水俣市地方創生SDGs総合戦略会議>

総合戦略の策定にあつた会議で意見等聴取

- ・1月素案確認
- ・3月最終案確認

#### <庁内>

・関係部署への内容確認、KPI設定等依頼（11月）

## まち・ひと・しごと創生法の概要

### まち・ひと・しごと創生法の概要

#### 目的（第1条）

少子高齢化の進展に的確に対応し、人口の減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の過度の集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくために、まち・ひと・しごと創生（※）に関する施策を総合的かつ計画的に実施する。

※まち・ひと・しごと創生：以下を一体的に推進すること。

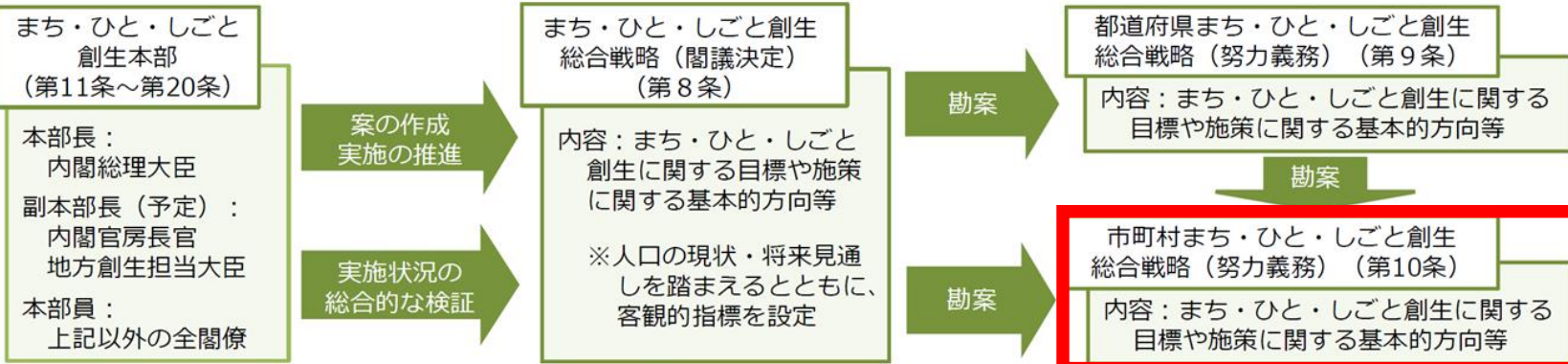
まち…国民一人一人が夢や希望を持ち、潤いのある豊かな生活を安心して営める地域社会の形成

ひと…地域社会を担う個性豊かで多様な人材の確保

しごと…地域における魅力ある多様な就業の機会の創出

#### 基本理念（第2条）

- ①国民が個性豊かで魅力ある地域社会で潤いのある豊かな生活を営めるよう、それぞれの地域の実情に応じた環境を整備
- ②日常生活・社会生活の基盤となるサービスについて、需要・供給を長期的に見通しつつ、住民負担の程度を考慮して、事業者・住民の理解・協力を得ながら、現在・将来における提供を確保
- ③結婚・出産は個人の決定に基づくものであることを基本としつつ、結婚・出産・育児について希望を持てる社会が形成されるよう環境を整備
- ④仕事と生活の調和を図れるよう環境を整備
- ⑤地域の特性を生かした創業の促進・事業活動の活性化により、魅力ある就業の機会を創出
- ⑥地域の実情に応じ、地方公共団体相互の連携協力による効率的かつ効果的な行政運営の確保を図る
- ⑦国・地方公共団体・事業者が相互に連携を図りながら協力するよう努める



施行期日：公布日（平成26年11月28日）。ただし、創生本部・総合戦略に関する規定は、平成26年12月2日。

### 総合戦略(2027年度までの5か年計画)の基本的考え方

- 「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を目指す。
- デジタルの力を活用して地方創生を加速化・深化し、各地域の優良事例の横展開を加速化する。
- これまでの地方創生の取組についても、改善を加えながら推進する。

### 施策の方向

#### 地方の社会課題解決

- ① 地方に仕事をつくる
  - ・ 中小・中堅企業DX、地域の良質な雇用の創出等、スマート農業、観光DX 等
- ② 人の流れをつくる
  - ・ 移住の推進、関係人口の創出・拡大、地方大学・高校の魅力向上 等
- ③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
  - ・ 結婚・出産・子育ての支援、少子化対策の推進 等
- ④ 魅力的な地域をつくる
  - ・ 地域生活圏、教育DX、医療・介護DX、地域交通・物流・インフラDX、防災DX 等

#### 国によるデジタル実装の基礎条件整備

- ① デジタル基盤の整備
  - ・ デジタルインフラの整備、デジタルライフライン全国総合整備計画、マイナンバーカードの普及促進・利活用拡大 等
- ② デジタル人材の育成・確保
  - ・ デジタル人材育成プラットフォームの構築、職業訓練のデジタル分野の重点化、高等教育機関等におけるデジタル人材の育成 等
- ③ 誰一人取り残されないための取組
  - ・ デジタル推進委員の展開、デジタル共生社会の実現 等

### 政策間連携・施策間連携・地域間連携の推進

#### (政策間連携)

- ・ デジタル行財政改革会議における議論の進展や、「デジタル行財政改革中間とりまとめ」なども踏まえつつ、規制改革を始めとする政策と連携しながら、一体的に推進 等

#### (施策間連携)

- ・ 各省による重点支援や地方支分部局の活用等による伴走型支援等を通じて、地域が目指す将来像の実現を支援 等

#### (地域間連携)

- ・ 自治体間連携の枠組みにおけるデジタル活用の取組を促進 等



# まち・ひと・しごと創生水俣市人口ビジョンの改定

## 水俣市の人口見通し 長期目標 14,000人程度

| 前回：仮定値                                          | 今回：仮定値                                                 |
|-------------------------------------------------|--------------------------------------------------------|
| ①パターン1（社人研推計準拠）<br>2060年11,783人                 | ①パターン1（社人研推計準拠）<br>2060年10,079人                        |
|                                                 | ②シミュレーション1（パターン1＋移動均衡）<br>14,221人                      |
| ②シミュレーション1（パターン1＋出生率上昇）<br>2060年12,799人         | ③シミュレーション2（パターン1＋出生率上昇）<br>2060年10,380人                |
| ③シミュレーション2（シミュレーション1＋移動均衡）<br>2060年17,473人※前回採用 | ④シミュレーション3（シミュレーション2＋移動均衡）<br>2060年14,855人             |
|                                                 | ⑤シミュレーション4（シミュレーション2＋若年男女中心に確保）<br>2060年14,000人程度※今回採用 |

※人口推計値については、「国立社会保障・人口問題研究所令和5年推計」（以下「社人研推計」という。）を利用。

※出生率上昇は、前回仮定値は合計特殊出生率が2030年までに人口置換水準程度（2.1）まで上昇と仮定、今回仮定値では2030年を2040年として仮定。

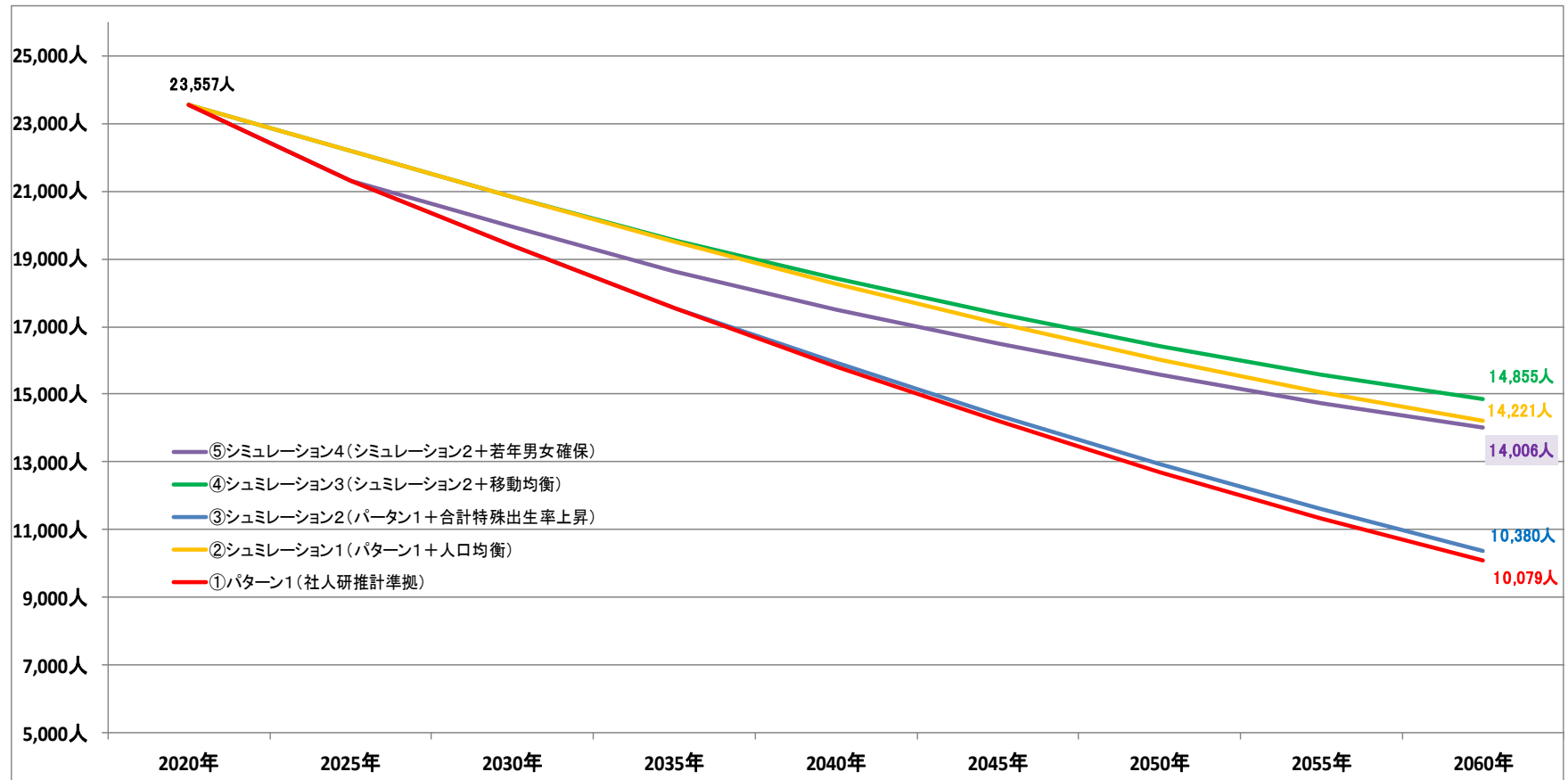
※仮定値⑤の想定「男女全体で年間100名（少子化対策で重要な若年男女（5～44歳）においては各30名程度を条件）程度の転出抑制又は転入増加により確保」

令和5年社人研推計（①パターン1の5年毎推計）

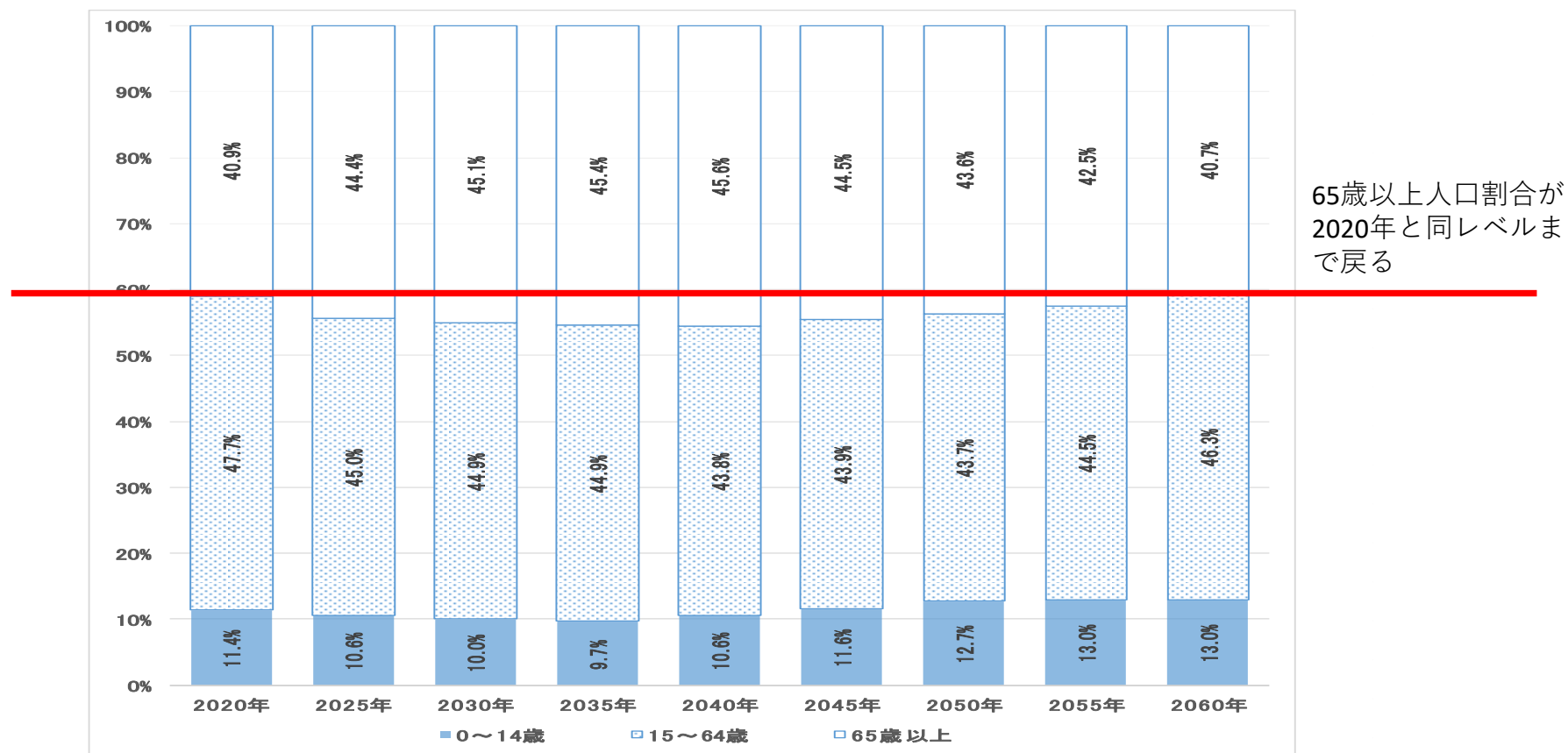
2020年 23,557人 2025年 21,298人 2030年 19,372人 2035年 17,526人 2040年 15,812人 2045年 14,207人  
2050年 12,700人 2055年 11,331人 2060年 10,079人（参考）2070年 7,912人

# 推計パターン別人口見通し

| 推計パターン                       |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         | 参考      |  |
|------------------------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|--|
|                              | 2020年   | 2025年   | 2030年   | 2035年   | 2040年   | 2045年   | 2050年   | 2055年   | 2060年   | 2065年   | 2070年   |  |
| ⑤シミュレーション4(シミュレーション2+若年男女確保) | 23,557人 | 21,305人 | 19,933人 | 18,620人 | 17,508人 | 16,498人 | 15,582人 | 14,750人 | 14,006人 | 13,378人 | 12,868人 |  |
| ④シミュレーション3(シミュレーション2+移動均衡)   | 23,557人 | 22,188人 | 20,842人 | 19,539人 | 18,408人 | 17,372人 | 16,420人 | 15,563人 | 14,855人 | 14,287人 | 13,817人 |  |
| ③シミュレーション2(パターン1+合計特殊出生率上昇)  | 23,557人 | 21,305人 | 19,399人 | 17,561人 | 15,923人 | 14,384人 | 12,939人 | 11,610人 | 10,380人 | 9,273人  | 8,292人  |  |
| ②シミュレーション1(パターン1+人口均衡)       | 23,557人 | 22,180人 | 20,807人 | 19,494人 | 18,244人 | 17,086人 | 16,014人 | 15,050人 | 14,221人 | 13,503人 | 12,868人 |  |
| ①パターン1(社人研推計準拠)              | 23,557人 | 21,298人 | 19,372人 | 17,526人 | 15,812人 | 14,207人 | 12,700人 | 11,331人 | 10,079人 | 8,939人  | 7,912人  |  |



| 割合     |       |       |       |       |       |       |       |       |       | 参考    |       |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
|        | 2020年 | 2025年 | 2030年 | 2035年 | 2040年 | 2045年 | 2050年 | 2055年 | 2060年 | 2065年 | 2070年 |
| 0～14歳  | 11.4% | 10.6% | 10.0% | 9.7%  | 10.6% | 11.6% | 12.7% | 13.0% | 13.0% | 13.1% | 13.5% |
| 15～64歳 | 47.7% | 45.0% | 44.9% | 44.9% | 43.8% | 43.9% | 43.7% | 44.5% | 46.3% | 48.2% | 49.3% |
| 65歳以上  | 40.9% | 44.4% | 45.1% | 45.4% | 45.6% | 44.5% | 43.6% | 42.5% | 40.7% | 38.7% | 37.2% |



# デジタル田園都市国家構想の実現に向けた第3期 水俣市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について

## 基本目標の設定

国の取組方針及び本市の第2期総合戦略の基本目標を考慮した上で、基本目標の内容を見直し（加筆、修正、削除等）、デジタルに関する文言を追加して設定。

| 国の取組方針            | 前回：基本目標                  | 今回：基本目標                               |
|-------------------|--------------------------|---------------------------------------|
| 地方に仕事をつくる         | 強い産業基盤をつくり、安心して働ける水俣をつくる | 地域に根差した産業を育み、水俣に仕事をつくる                |
| 人の流れをつくる          | 人材を育て、水俣への新しいひとの流れをつくる   | 質の高い教育と地域資源を活かし、水俣へ人の流れをつくる           |
| 結婚・出産・子育ての希望をかなえる | 水俣で結婚・出産・子育ての希望をかなえる     | 若者・子育て世代の生活環境を整え、水俣で結婚・出産・子育ての希望をかなえる |
| 魅力的な地域をつくる        | 安心して暮らせる魅力的な水俣をつくる       | 幸せを感じ、安心していきいきと暮らせる魅力的な水俣をつくる         |



# 数値目標の設定

- ・ 毎年度、数値確認ができること
- ・ 1つの基本目標に1つの数値目標を設定

これらを基準として、かつ人口ビジョンの目標人口と整合性が取れる人口に関する数値を各基本目標の数値目標に設定

## 数値目標と総合戦略のイメージ図

効果的にデジタルの力を取り入れながら、地域の特性を活かした施策

| 基本目標                                                                                                                                                                    | 数値目標                                                                                                                   | 地域活性化策<br>住民による地域づくり |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|
| <b>1 地域に根差した産業を育み、水俣に仕事をつくる</b><br><br>※基本目標と数値目標の整合<br>「地域に根差した産業を育てる施策」→「創業・就業機会等の増加、雇用環境等の充実を構築」→「水俣に仕事ができる」→「生産年齢人口が確保される」→「生産年齢人口減少が緩和」                            | <b>生産年齢人口の減少率</b><br><b>2028年までの減少率7%以内</b><br><b>(基準2024年9月末)</b><br><br>※前回：市内事業者従業者数                                |                      |
| <b>2 質の高い教育と地域資源を活かし、水俣へ人の流れをつくる</b><br><br>※基本目標と数値目標の整合<br>「質の高い教育と地域資源を活かした施策」→「教育・交流等による本市との関係等を構築」→「関係等でできればUターンや移住を検討」→「転入者が確保される」→「転入者が増加」                       | <b>移住支援策を活用した転入者数</b><br><b>2028年 累計120人</b><br><b>(基準2025年からの4年間：年間30人)</b><br><br>※前回：水俣高校入学者数                       |                      |
| <b>3 若者・子育て世代の生活環境を整え、水俣で結婚・出産・子育ての希望をかなえる</b><br><br>※基本目標と数値目標の整合<br>「若者・子育て世代の生活環境を整える施策」→「結婚・出産・子育てについて希望する環境を構築」→「環境が良ければ結婚・出産・子育てを行いたい」→「子育て世代が確保される」→「若年人口減少が緩和」 | <b>若年人口の減少率</b><br><b>2028年までの減少率8%以内</b><br><b>(基準2024年9月末)</b><br><br>前回：子育て支援サービス等が充実し、子育てしやすい環境だと感じる保護者の割合         |                      |
| <b>4 幸せを感じ、安心していきいきと暮らせる魅力的な水俣をつくる</b><br><br>※基本目標と数値目標の整合<br>「幸せを感じ、安心していきいきと暮らすための施策」→「魅力的な生活環境を行政、住民等で構築」→「魅力的であれば人は住みたい」→「子どもから高齢者までの人口が確保される」→「人口減少が緩和」           | <b>全人口の減少率</b><br><b>2028年までの減少率6%以内</b><br><b>(基準2024年9月末)</b><br><b>※基本目標全体の数値目標にもなる</b><br><br>前回：水俣が住みやすいと感じる市民の割合 |                      |

「しごと」起点、「ひと」起点、「まち」起点の3つの起点による柔軟で多様なアプローチによる「まち・ひと・しごと」の好循環（基本目標が絡み合うことが重要）